

和歌山だよい

平成24年

4・5月合併号



平草原公園（白浜町）

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P7
3. お知らせ…………… P8～P13
4. ふるさと歳時記……………P14



国体マスコットきいちゃん

「官僚について」

最近多くの方々に、「日本はどうなってしまうのでしょうか。政治家も政治家ですが、国の官僚はどうなってしまったのですか。」と聞かれます。私も前職が国家公務員ですが、今でも知事はだめだという時に「官僚だから」という理由を付けられるように、官僚は、最近は悪者の代表のように言われ続けてきました。

特に現在の政権になってからは、政治主導の名のもとに、その活用があまり熱心にされていないような気がします。その中でもとりわけ政権発足時には、官僚諸氏は政務三役の使い走りぐらいの役割しか与えられていないと思うような役所があちこちにありました。（その時政治家だけで考えて、実行した政策はその後どうなったでしょう。）

実は、昔から官僚への批判はたくさんあったのです。国政で何か不都合が生じたとき、批判、攻撃の矢面に立ってきたのは官僚です。しかし、段々と官僚の横暴がけしからんと言う声が強くなり、本当は専門知識を生かして先を読み、必要と考える政策とその実行方法を提案することが官僚の使命だと私は思うのですが、それが否定されてきました。それが新政権で極致に達したのではないのでしょうか。

その結果、国の官僚達が、政治家に指示されたことしかしなくなり、提案をすることに躊躇したり、あるいは情熱を失っているような気がしてなりません。こういう事態が続くと、実戦から遠ざかっているスポーツ選手のように、優秀だとかつては言われた能力も衰えてきます。また、有能な人が集まらなくなってくるでしょう。

しかし、私に言わせれば、公務員として奉職している限り、上司の政治家がどうであれ、日本のために考え、提案することを怠る権利など官僚にはないのです。考え、提案することをしない官僚はただの月給泥棒です。もちろん、官僚も、怠けたり無駄なことをしたり、集団として自分達の利益を守ろうとする組織的エゴイズムに陥ったりすることもあるでしょう。しかし、そういうことを官僚がしようとしても、上司である政治家がしっかりしていれば、実は100%防げます。それもしないで部下の悪口を言っている政治家がいかに多いことか。

私は、今県庁 4,000 人の官僚の上司である政治家です。県民のために、自己の責任のもと、この 4,000 人の有能な官僚の志を高め、彼らに県勢の発展と県民の幸せを考えて提案させ、その能力を最大限発揮させることが私の使命です。



4月3日定例記者会見にて

今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

● 平成24年度 組織の新体制について（主な組織改正）

組織の新設等

1 「紀の国わかやま国体」開催に向けた体制強化

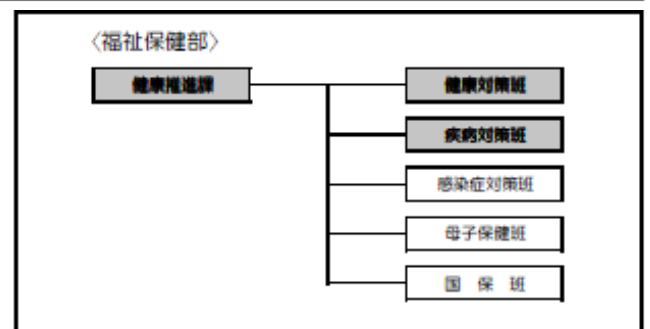
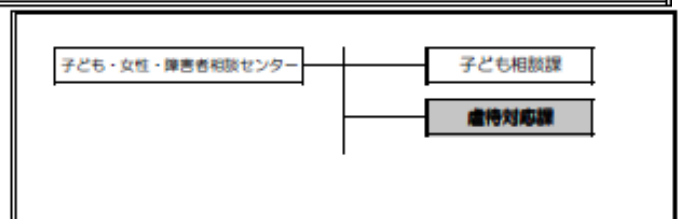
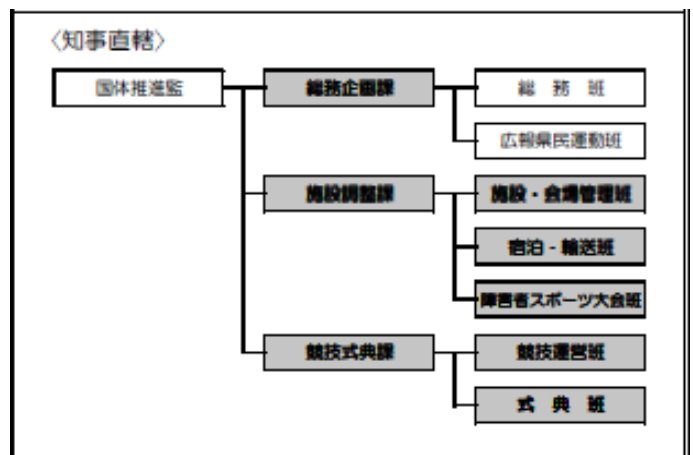
・平成27年の「紀の国わかやま国体」の開催準備を着実に推進するため、1課4班体制から3課7班体制に組織を拡充しました。

2 児童虐待への対応強化

・年々増加する児童虐待への対応強化のため、子ども・女性・障害者相談センターに「虐待対応課」を設置し、通告受理から施設入所・在宅支援まで一貫して支援する体制を構築しました。

3 健康対策の一元化

・県民の健康対策に一元的に取り組むため、健康づくり推進課と難病・感染症対策課、子ども未来課の母子保健班を統合して「健康推進課」を設置しました。



施策推進体制の整備

1 農林水産関係「試験研究」と「普及」の強化

・農林水産総合技術センターを廃止し、その企画部門を本庁に移し、試験研究全体を統括する「研究推進室」を農林水産総務課に設置し、試験研究の強化を図りました。
・農林水産総合技術センターと果樹園芸課にあった普及部門を集約し、経営支援課に普及班を設置、また、振興局農業振興課のグループを再編し、現場中心に技術指導や担い手対策を行う「普及グループ」を設置し、普及業務の集約・強化を図りました。

2 空港・港湾プロモーションの体制見直し

・港湾・空港を活用した観光客の誘致や物流の活性化を推進するため、南紀白浜空港及び港湾の振興業務を県土整備部から商工労働部・企画部へ移管しました。
・チャーター便やクルーズ船の誘致は観光局、南紀白浜空港の利用促進やコンテナ貨物の誘致等のポートセールスは総合交通政策課、港湾・空港の管理等業務は引き続き港湾空港課が所管します。

3 環境施策の推進業務と規制・管理業務を整理

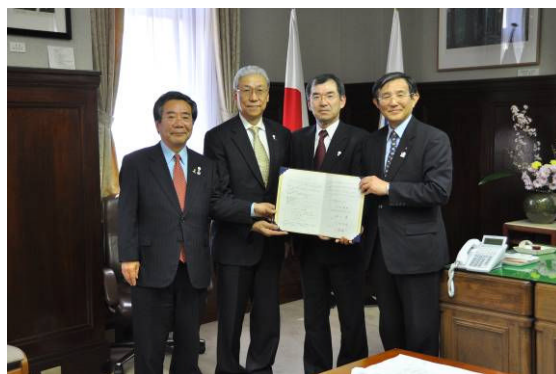
・環境施策の推進業務と規制・管理業務を整理し、業務を効率的に実施するために、環境政策局を再編しました。
・施策の推進については環境生活総務課、規制・管理については循環型社会推進課、環境管理課が担当します。

●県内初！メガソーラー事業進出決定

・4月4日、県庁において和歌山市の「コスモパーク加太」に県内で初めて設けられる大規模太陽光発電所(メガソーラー)の進出協定調印式が行われました。

・今回、進出するのは広島市に本社を置く株式会社ウエストホールディングスで、住宅用太陽光発電システムの設計・施工を手掛ける業界屈指の企業で、産業用分野への進出を積極的に進めています。

・また、事業実施にあたり、愛知県豊田市に本社を置く株式会社トヨタタービンアンドシステムが、自社が持つ業務用太陽光発電システムの技術力を生かし、協力を行うこととなっています。



・メガソーラーは「コスモパーク加太」で一般企業への貸与が適さない南向き斜面に設置され、出力は約2メガワットでこれは一般家庭約580世帯分の年間消費量に相当します。今年7月の稼働を目指しています。

・調印式には2社の代表が出席し、仁坂知事は「これからはクリーンエネルギーが時代の主役になっていく。そういうときに和歌山県でもこういう貢献が出来て大変うれしく思う。」と述べました。

・5月から工事が着工され、7月からの稼働をめざしています。

●県内初！市街地再開発事業けやきガーデンが完成！

・和歌山県内で初めての市街地再開発事業として、官民が協力して進めてきた複合施設「けやきガーデン」が和歌山市に完成し、3月30日に記念式典が開催されました。

・「けやきガーデン」はJR和歌山駅から徒歩5分のけやき大通り沿いに位置し、商業棟、マンション棟、ホテル棟の三つの建物からなります。

・商業棟とマンション棟については、既に昨年完成し、飲食店等が営業を開始していましたが、今回ホテル棟が完成したことにより、一連の再開発事業が完了となりました。



・記念式典で仁坂知事は「和歌山にはまだまだ潜在的に伸びる余地がある。今後も関係者と協力し、市街地の活性化を図っていきたい」と述べ、完成を祝いました。

●企業立地件数が103件になりました。

・この度、日高川町の南山工業団地に株式会社たにぐちが工場を増設することになりました。これにより、平成19年以来の企業立地件数は103件となりました。

・株式会社たにぐちは、大阪市に本社を置くチョコレートオーナメントをはじめとした、チョコレート菓子全般にわたる企画開発、製造販売を行う専門メーカーです。

・今回、業績の伸展・拡大に伴い、生産能力の増強を図るため、和歌山第2工場を新設することになりました。新工場の操業は平成25年6月の予定です。

※チョコレートオーナメント

ケーキ等のデコレーション飾りに使用するチョコレート菓子。



ループ

● 南海電鉄「和歌山大学前駅」が開業！

- ・ 4月1日、南海電鉄本線の孝子駅（大阪府岬町）～紀ノ川駅間に新たに「和歌山大学前駅」が開業しました。
- ・ 南海電鉄では100番目の駅となり、また和歌山県内での鉄道駅の開業は平成11年の貴志川線・交通センター前駅以来となります。
- ・ 新駅は1階にホーム、2階に駅舎がある橋上タイプで、平日で上り下り合わせて136本の電車が停車。和歌山大学と開発が進む新興住宅地「ふじと台」の最寄り駅となります。
- ・ 開業に先立ち、3月31日に、安全を祈願する「修祓式」が新駅のコンコース内で厳かに行われ、続いて「直会」が市内のホテルで開かれました。
- ・ 式典で、仁坂知事は「新駅がいよいよ開業ととなり、地域の希望の星ができた。今後、これを皆で地域の発展にどうやって活かしていかが大切だ」と挨拶し、新駅の開業を祝いました。
- ・ 6月には併設する商業ビルが開業し、さらに、大型ショッピングモールの進出も計画されており、地域の玄関口として発展が期待されています。



● 南海トラフの巨大地震モデル検討会の結果を受けた防災対策について

・ 3月31日、内閣府から「南海トラフの巨大地震に関する検討結果公表」の一部として津波の高さが公表されました。県では、この結果を受けて、再度避難場所等の見直しや避難路等の整備促進などの防災対策を実施します。

避難場所等の見直し

今回公表された津波の高さなどを考慮して、避難場所等の見直しを4月中に行う。

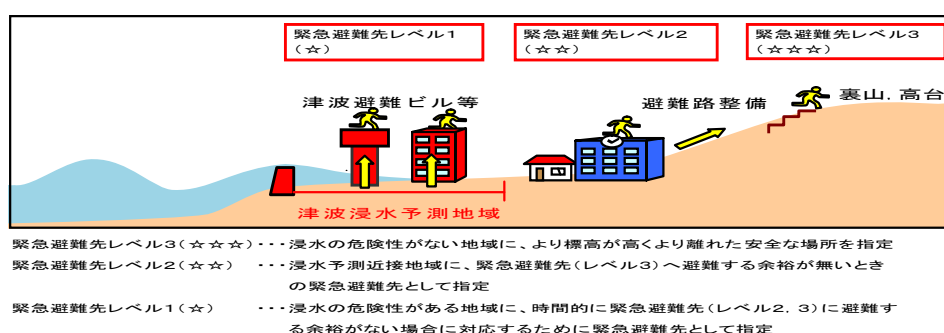
- ・ 緊急避難先レベル3について、津波の高さと比較して、レベルの見直しを行う。
- ・ 津波の高さを考慮して、より安全な高台や裏山を緊急避難先として指定する
(※レベル1，2については、津波浸水予測図が作成されないと判断できないため今回は見直しを行わない。)

避難路の整備

4月中に市町村から避難路等の要望を取りまとめ、5月中に補助金の交付決定を行い、早急に整備を行う。

被害想定の見直し

河田恵昭関西大学社会安全学部長を会長に鈴木進吾京都大学防災研究所巨大災害研究センター助教、清野純史京都大学大学院工学研究科教授、林能成関西大学社会安全学部准教授、木村玲欧兵庫県立大学環境人間学部准教授、北田奈緒子(財)地域地盤環境研究所主任研究員の6名の専門家からなる「和歌山県地震・津波被害想定検討委員会」を設置し、津波浸水予測・地震被害想定を見直す。



●「カフェ&バー プロント」で「つれもてWAKAYAMA」キャンペーン開催

・5月～6月の2ヶ月間、首都圏を中心として全国に店舗を展開するサントリー系列の外食チェーン店「カフェ&バー プロント」において、和歌山県産の食材を使ったメニューによる和歌山フェア「つれもてWAKAYAMA」キャンペーンが開催されます。

・4月19日、キャンペーン開催にあたり、東京のカフェ&バープロント品川店において仁坂知事と株式会社プロントコーポレーションの竹村社長により、共同記者会見が行われました。

・このキャンペーンは、昨年7月にサントリービア&スピリッツ株式会社と和歌山県、県内生産者団体等が調印を行った「県産食材振興に関する取組」の一環として行われるものです。

・仁坂知事は「和歌山はみかんや梅、桃、はっさく、柿など日本一の生産量を誇る果物の産地。また、海に面していて、今回のキャンペーンでお使いいただくシラスやマグロなどの海産物にも恵まれています。ぜひ、プロントで和歌山の美味しいお料理を召し上がってください。」と述べ、



竹村社長も「サントリー「角ビン」と南高梅が絶妙なハーモニーの“和歌山ハイボール”等、和歌山の特産品の最大限に引き出したメニューをご用意しております。和歌山県とプロントが一緒になって盛り上げ、お客様に楽しんでいただけるキャンペーンを目指します。」とキャンペーンをPRしました

・会場では、八朔・夏みかんの混合ジュース「結朔」にヒアルロン酸をブレンドしたジュースや梅を使った紀州ハイボール、紀州うめどりをを使ったパスタ、マグロのカルパッチョなど県産食品を豊富に使ったオリジナルメニューの試食も実施され、好評を得ました。

・皆さんも、この機会にぜひ、「おいしい！健康わかやま」を体験してください。

【主なメニュー】



ぶるぶる結朔(けっさく)ジュース 360円～
和歌山県産のはっさくと夏みかんをブレンドした100%ジュースにヒアルロン酸をプラスしました。



和歌山ハイボール 590円
太陽の恵み紀州梅と角のコラボレーション。紀州梅シロップと甘露梅を使用したハイボール



和歌山県産しらすとイカの生姜風味スパ(紀州梅添え) 760円
和歌山県産釜揚げしらすと北海道産真イカを使った生姜風味のペペロンチーノ紀州梅とあわせれば、さっぱりとした味も楽しめる2度美味しいパスタです。



紀州うめどりと夏野菜のバジルペペロンチーノ 790円
柔らかく臭みのない、ジューシーな紀州うめどりと夏野菜を具材にアンチョビとバジルが香るペペロンチーノ。トッピングの梅干を混ぜて爽やかにいただけます。



漁師のカルパッチョ (桜びんちょうまぐろ) 390円
綺麗な桜色の特徴的那智勝浦でとれる国産天然びんちょう鰯を使用。もちもちした肉質とほのかな甘みのお刺身をカルパッチョ風にアレンジ。たっぷりのオニオンと大葉をのせました。



和歌山県産しらすのにんにくオイル焼き 590円
和歌山県産の旨みたっぷりのしらすを、オリーブオイルとニンニクでシンプルに焼きました。バケットにたっぷりのせてどうぞ。



紀州うめどりときゅうりの梅サラダ 490円
梅酢をエサに使用した臭みの少ない紀州うめどりときゅうりを紀州梅でマリネ。さっぱりとした味わいです。



海の生ハムのおつまみペンネ 590円
天然国産黒皮カジキをスモークした生ハムを使用。アンチョビソース・ケーパー・レモンを使用した爽やかなソースは白ワインにおすすめ。

● 湯浅御坊道路（有田～御坊間）4車線化事業化！近畿自動車道紀勢線すさみ～太地間・新宮～大泊間の計画段階評価も着手へ！

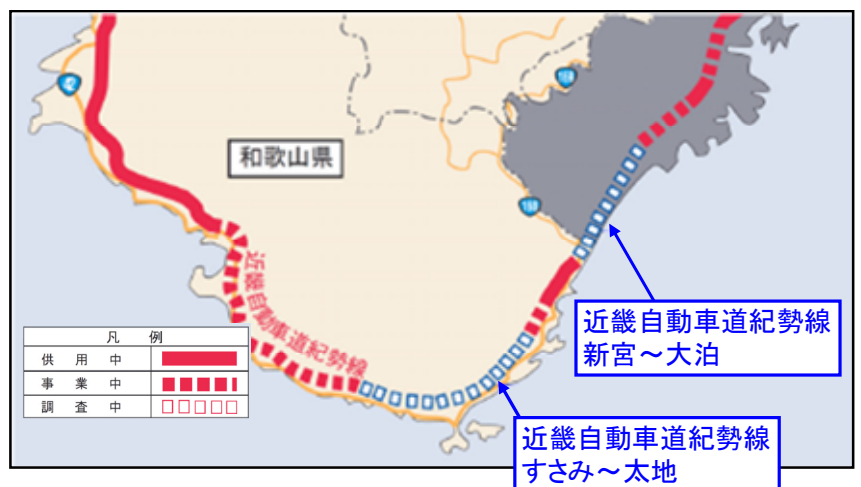
・4月6日、国土交通省から平成24年度予算の概要が発表され、湯浅御坊道路の有田IC～御坊IC間の4車線化事業が今年度から着手されることになりました。

・今回、着手される区間は、全国的高速道路二車線区間の中でも、トップクラスの交通量があり、休日を中心に慢性的な渋滞が発生すると同時に、対面通行による正面衝突事故などが発生していることから、県では早期4車線化の整備を国に強く要請してきました。

・仁坂知事は発表をうけ、「この区間は、昨年完成した海南～有田間に繋がる区間の事業化であり、交通渋滞の解消、紀南地域の観光振興などによる地域の発展や、対面交通による重大な交通事故防止、さらには大規模災害時の防災機能の強化を図るうえでも、極めて重要な事業化であって、大変有り難く、ようやくここまで来たと喜んでいる。今後は、事業化される有田～御坊間の4車線化の一日も早い完成に向け、県としても全力で取り組むとともに、今回見送られた残る御坊～南紀田辺間の早期4車線化についても引き続き国に働きかけていく。」とコメントを発表しました。

・また、近畿自動車道紀勢線の未事業化区間である「すさみ～太地間」、「新宮～大泊間」について、計画段階評価を進めるための調査が実施されることも、発表されました。

・計画段階評価は、事業化に必要なステップであり、仁坂知事は、この決定についても「県民の悲願である紀伊半島一周高速道路の実現に向け、極めて大きな前進であり、大変喜ばしい限り。これら未事業化区間について、速やかに計画段階評価を実施し、早期の事業化に向け手続きを進めて頂くよう、引き続き国に働きかけていく」とコメントを発表しました。

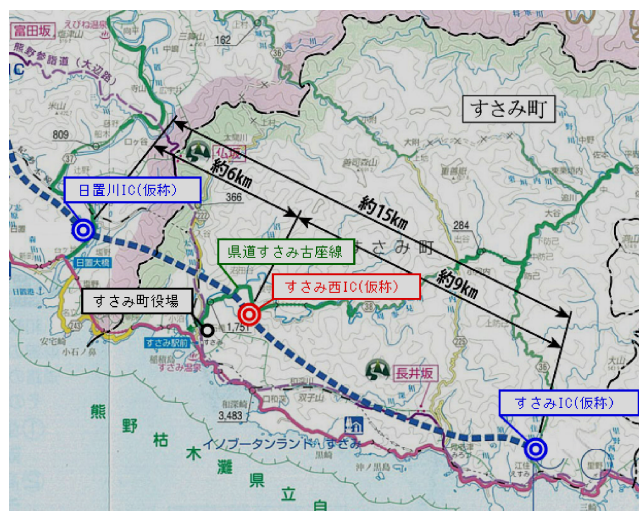


・和歌山県内の京奈和自動車道は、平成25年度に打田ＩＣまで、平成27年度には阪和自動車道と和歌山ジャンクションまでの開通をめざして、工事が進められています。



●近畿自動車道紀勢線すさみ西インターチェンジ（仮称）の設置が許可されました

- ・ 今後は、本線の供用に合わせ、整備を進めていきます。



「わかやま産品販路開拓アクションプログラム2012」を策定しました！
和歌山県工業製品の販売促進戦略
～ものづくり王国「和歌山」を世界に～

1 商談機会創出

販路開拓の必要性はますます高まっており、県内企業の販促活動の機会を提供します。

- (1) 専門的な海外展示会への集団出展
 - ・ ニューヨーク国際ギフトフェア(アメリカ)、アオールチャイナ・レザー・エキシビション(中国) 国際青果・食品博覧会(中国) インターストッフ・アジア・エッセンシャル(中国) アンビエンテ(ドイツ) への出展
- (2) 専門的な国内展示会への集団出展
 - ・ 機械要素技術展、東京インターナショナル・ギフト・ショー、インターネプコン・ジャパン、健康博覧会への出展
- (3) 専門展示会への個別出展支援
 - ・ 国内外の専門展示会へ出展する企業を個別に支援
- (4) 海外での商談会開催
 - ・ オーストラリアへ経済ミッションを派遣し、展示会出展や商談会など実施
 - ・ 中国山東省で企業商談会を開催し、山東省企業との商談機会を提供
 - ・ トルコへ経済ミッションを派遣し、トルコ企業との個別商談会等を実施
- (5) 国内での商談会開催
 - ・ 大企業へ出向いての展示商談会を開催
 - ・ 県外バイヤーと県内企業との商談機会を提供
 - ・ 県外の発注企業と県内企業との新規取引の開拓などを支援
- (6) 海外バイヤーの招聘
 - ・ ジェトロと連携し、①テキスタイル②日用品・雑貨③機械・部品分野等の海外バイヤーを招聘し、各々に商談会を開催
- (7) 首都圏での活動拠点の提供
 - ・ 東京都内に営業拠点(わかやまビジネスサポートセンター)を提供
- (8) 関西広域連合との連携
 - ・ 関西広域連合による広域的取組により、販路開拓を支援



2 ものづくりと販売力の強化

地場産業の新しいブランドづくりや地域の資源を活用したものづくりなどを支援するとともに、販路開拓に取り組む企業への相談体制や各種セミナーの開催など支援機能を強化します。

- (1) **地場産業の新しいブランドづくりへの取り組み支援**
 - ・企画・提案型のビジネスモデルを目指そうとする産地企業の取り組みを支援
- (2) **地域資源を活用したものづくり支援**
 - ・地域資源、共同研究成果を活かした商品開発や農商工連携による商品開発等の取り組みを支援
- (3) **産地組合の販路開拓活動支援**
 - ・国やジェトロの事業を活用して、販路開拓を支援
- (4) **海外進出への相談体制の充実**
 - ・和歌山国際経済サポートデスクの設置
- (5) **海外進出セミナーの開催**
 - ・貿易実務等の講座や各種セミナーの開催
- (6) **県内企業の奨励制度**
 - ・和歌山県ソムリエ委員会の認定企業、奨励企業や優良県産品（プレミアム和歌山）推奨制度の審査委員特別賞推奨品などにより支援。
- (7) **県内企業の情報発信**
 - ・受発注情報の収集・提供による取引支援
 - ・インターネットを活用した県内企業の情報発信



3 プレミア和歌山のブランド力確立と強化

産和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）推奨制度のブランド力確立のために、マスメディアとのタイアップ等による知名度向上を図るとともに、首都圏での高級スーパーへの出店など販路開拓の強化を図ります。

- (1) **プレミアム和歌山の認定**
 - ・プレミアム和歌山推奨品認定制度の充実
- (2) **プレミアム和歌山の認知度の向上**
 - ・食甚流通課等と連携を強化し、商談会・展示会への積極的な出展
 - ・新聞、テレビ等とタイアップし全国へ周知
- (3) **プレミアム和歌山の販路開拓の強化**
 - ・審査員特別賞の受賞事業者に個別プロデュース及び支援を実施



詳しくは企業振興課ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/061000/homepage/index.html>

アクションプログラム 2012

和歌山県農水産物・加工食品の販売促進戦略 を策定しました

県では、県産農水産物・加工食品の販売促進のための平成21年から毎年アクションプログラムを策定し、「わかやま産」の国内外への販売促進に取り組んでいます。

特に、今年は「おいしい！健康わかやま」をテーマに掲げ、おいしい食材提供で日本を元気にすることを目指します。以下、本年度のアクションプログラムのあらましをご紹介します。

■ アクションプログラム2012の概要

「おいしい！健康わかやま」宣言

私たちは、おいしい食材提供で日本中を元気にすることを宣言します。

○「おいしい！健康わかやま」をプレイアップするイベントの開催

- ・和歌山産食材の機能性と健康をPR
- ・県産主要食品の機能性紹介
- ・食生活とスポーツ・健康をテーマにパネルディスカッション
- ・県産主要食材の機能性パンフレットの配布

1. 「おいしい！健康わかやま」の魅力発信

大手企業とのコラボレーション

サントリー系列外食チェーン等でのフェア開催等、発進力のある大手企業とのタイアップで、「おいしい！健康わかやま」の魅力を首都圏はじめ全国に発信

J Aグループとの協働事業の展開

県とJAグループで構成する「和歌山ブランド向上対策推進会議」を主体として、「わかやま産品」のイメージアップに向けた効果的なPR活動を展開



2. 有利な販路の開拓

(国内編)

首都圏等大消費地での販路拡大

大消費地の有名百貨店等をターゲットに、生産者にとって有利な販路を開拓

高級レストランとの連携強化

情報発信力のあるレストランや有名シェフとのタイアップで「おいしい！健康わかやま」をPR



(海外編)

海外高級レストランへのアプローチ

県産梅・ゆずを使用した高級ベルギービール
“フルーツランビック”との協働による海外
高級レストランへの県産食材提案

わかやまフェアの開催

ジャパンブランドの復活を見越し、海外百貨店での販路開拓を一層促進
海外での知事トップセールスでも「健康」をテーマに梅機能性のPR



3. 高品質なモノづくりへの支援

生産者支援セミナー（FCP和歌山ランチ※）の開催

商談会成約率アップ・品質管理・新商品開発の各講座を開催
わかやま産品ブランド化支援アドバイザーの派遣等

※「食」に対する消費者の信頼向上のため、農林水産省が平成20年度に立ち上げた「フード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）」の和歌山県版取組

食料産業クラスターの形成

食料産業クラスターで海外向け商品の開発等



詳しくは食品流通課ホームページをご覧ください。

(<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/071700/index.html>)

「和歌山県観光実施行動計画振興アクション・プログラム 2012」 を策定しました！

和歌山県観光振興実施行動計画＝アクションプログラム2012＝

伊勢神宮式年遷宮、世界遺産登録10周年、和歌山デスティネーションキャンペーン
高野山開創1200年と続くビックイベントを活用した観光客誘客の促進

◆アクションプログラム2012の重点的取り組み◆

和歌山を売り出す ～ 新たな魅力のと創造とトレンドへの対応 ～

[世界遺産]

- ◆「自然崇拝の地」で売り出す＜女性をターゲットとしたプロモーション＞
 - ・熊野本宮大社正遷座1200年を契機とした魅力発信や参詣道の新たな魅力づくり
- ◆「三つ星」で売り出す…＜ミシェラン・グリーンガイド・ジャポンの三つ星「高野山」「熊野」による誘客＞
 - ・JALとタイアップしたプロモーションや「わかやま三つ星旅」モデルコースの紹介
- ◆ウォーキングコースの整備の推進
 - ・高野七ロスタンプ整備や紀伊路等世界遺産エリアの拡大を目指すルートの整備で認知度アップ
- ◆10万人の参詣道環境保全ウォークの実施
 - ・健康セラピストや語り部と歩きながら、参詣道の補修や清掃を実践



[温泉]

- ◆「日本型温泉クアオルト（滞在型温泉健康保養地）」の情報発信
- ◆各温泉地の特色ある魅力の創出（ALL 白浜誘客、勝浦漁港まち歩き観光、美人湯など）

[ほんまもん体験]

- ◆企業の消費者購買キャンペーンにほんまもん体験を活用した旅行商品を景品として提案

[歴史・浪漫]

- ◆古事記や神話をテーマとした誘客プロモーション
 - ・古事記編纂1300年を契機に「神話旅（仮称）」としてとりまとめ、スタンプラリーの実施やNEXCO 西日本広域連携キャンペーンへの参画

[食の魅力]

- ◆健康をテーマとした料理の発信や新たな朝食メニューの創出などにより、健康わかやまをアピール

和歌山へ招く～ 伊勢神宮式年遷宮の取組の推進と大都市圏・海外からの誘客を強化～

[伊勢神宮式年遷宮から]

- ◆神社関係者（神職・氏子崇敬者）に和歌山県の認知度の向上と来訪の動機付け
 - ・全国の主要な神社への知事ダイレクトメールや全国の主要な熊野神社への来訪依頼
 - ・神社本庁指定旅行会社等へのコース企画・営業を依頼

〔首都圏から〕

- ◆首都圏PRイベント「和歌山に行ってみよう！キャンペーン2012 Vol.2(仮称)」の実施

〔近畿・東海・西日本首都圏から〕

- ◆鉄道・高速道路・フェリーとのタイアップキャンペーン
 - ・各交通機関とタイアップし、大阪、名古屋、岡山、広島、福岡などの都市部において、メディア、旅行会社、消費者を対象としたプロモーションを実施

〔海外から〕

国別の嗜好や旅行熟度合わせた誘客活動の強化、公共交通機関やレンタカーを使った個人旅行のための環境整備

- ◆アジア（香港、台湾、韓国、中国）…近隣府県の観光資源と組み合わせた広域観光ツアーの造成とセールス
 - ・教育旅行の誘致、体験メニューの活用、インセンティブツアー・研修旅行の誘致、国際チャーター便の誘致
- ◆欧米…JNTOや近畿府県等と連携した多様なプロモーションの展開
 - ・高野・熊野人気の拡大、情報発信の強化
- ◆これからの市場（タイ、シンガポール、豪州）…認知度向上の促進
 - ・メディアを活用した露出拡大及び旅行商品の造成促進

〔ターゲットごとのプロモーションで〕

- ◆企業のCSR活動との連携、コンベンション等を誘致
 - ・企業のCSR活動として世界遺産の保全活動と連携し、企業等の発進力を活用
 - ・企業の社員研修、年金旅行誘致、修学旅行誘致、スポーツ合宿の積極的展開



和歌山でもてなす～おもてなしの宿づくり・おもてなしの人づくり支援～

〔おもてなしの宿づくり・人づくり〕

- ◆気運の醸成＜おもてなしキャンペーン、観光セミナーの実施＞
- ◆おもてなしの宿づくり
 - ・旅館等にアドバイザーを派遣し観光客ニーズに対応した商品力強化を図る宿づくりを支援
- ◆おもてなしの人づくり
 - ・外国人観光客受け入れ向上のためのアドバイザーを派遣、世界遺産エリアを対象にした通訳ガイド認定制度の創設
 - ・タクシードライバーのおもてなし向上のための教本カリキュラムに基づく研修の開催

〔環境調査〕

- ◆観光案内表示の多言語化、快適なトイレ環境の実現

和歌山デスティネーションキャンペーン（DC）で売り出す、招く、もてなす

- 平成26年の「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産10周年を契機に、JRグループ（JR北海道、東日本、東海、西日本、四国、九州）と協働してDC実施
 - 【期間・地域】平成26年9月14日～12月13日 和歌山県全域
 - 【テーマ】「和み（なごみ）」
- ◆推進協議会の設立、基本計画の策定、DCを意識した露出拡大

詳しくは観光振興課ホームページをご覧ください。

(<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/062400/index.html>)

～四季百景わかやま市～

養翠園

・紀州藩第十代藩主徳川治宝が造営した庭園で、徳川中期の代表的な武家庭園とも言われる池泉回遊式庭園となっており、国の名勝に指定されています。

・周囲に松ヶ枝堤とよばれるクロマツの並木が茂り、敷地の中にめぐらされた池は、海沿いの立地を利用し、海水を引き入れる汐入の池となっている珍しいものです。

・園内には様々な季節の花があり、訪れる人を楽しませてくれます。これからの季節、茶室を備えた養翠亭前の池に上品な紫のアヤメの花が咲き誇り、6月上旬からは、アジサイの花が見頃を迎え、広大な庭園に季節の彩りを添えます。



紀州東照宮

・東照宮は1621年に紀州藩初代藩主徳川頼宣により、南海道の総鎮護として創建されました。

・「権現造り」の本殿のほか、拝殿、楼門など七棟が国の重要文化財に指定されています。江戸時代初期の代表的な霊廟建築で、その荘厳さ・華麗さから「紀州の日光」とも呼ばれています。

・5月13日には、恒例の和歌祭が開催されます。東照宮の108段の石段を勇ましく神輿が駆け下り、その後、太鼓や雑賀踊、薙刀振りなどの渡御行列が和歌浦周辺を練り歩きます。



四季百景わかやま市

・和歌山市観光協会では、「四季百景わかやま市」と題したキャンペーンを開催中です。これは四季折々にテーマを設定し、和歌山市の魅力を発信していくもので、春のテーマは「花」。

・花と歴史にゆかりのある観光名所を巡るスタンプラリーを実施中で、6月30日までの期間中に3ヶ所のスタンプを集めると、オリジナルグッズがもれなくプレゼントされ、さらに抽選で豪華賞品が当たるダブルチャンスもあります。上記で紹介した養翠園、東照宮もスタンプ設置場所になっています。

・今後も、夏は「海」、秋は「グルメ」、冬は「温泉」とテーマを変え、キャンペーンは続いています。

・詳しくはホームページ (<http://www.shiki100kei.com/>) をご覧ください。



～編集後記～

「和歌山だより」をいつもご覧いただいております皆さんはじめまして。4月1日付けの人事異動により秘書課長を拝命し、3代目の編集長に就任しました森田康友と申します。

少し、自己紹介をさせていただきますと、以前の所属は、総務部行政改革課でありました。今号の県政トピックス冒頭に掲載させていただきました、県庁の組織見直しや、事務事業の見直しなどに取り組んでおりました。どちらかという内部管理的な業務でしたが、これからは、新たな気持ちで県庁以外の人とたくさんお会いし、いろいろ勉強させていただきたいと思っておりますのでどうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、新年度がスタートして、まもなく1ヶ月となります。新たな一步を踏み出した社会人一年生も、ようやく新生活に慣れてきた頃ではないかと思えます。

去年は、東日本大震災の影響で、各地で入社式が取りやめになりましたが、今年は、例年どおり行われ、企業のトップからは日本の復興・再生に向けて、社会人一年生に多くの期待と激励の言葉が贈られました。

そのような中で、老舗百貨店の入社式でスーツの着用禁止というニュースが注目を集めました。新入社員に自己表現や活発な提案を促すのがねらいと言うことでしたが、変化の激しい時代を勝ち抜くために、企業がいかに新しい発想を求めているかということがわかります。

これは、私たち公務員も同じです。仁坂知事も、新規採用職員の辞令交付式で、「考え、提案する人であってほしい」と訓話をされました。

新規職員のみならず、すべての職員が和歌山の今について考え、アイデアを出し合い、より良い和歌山を創っていかねばならないと思えます。

ともあれ、「和歌山だより」編集長としては私も一年生です。一年生らしく、できるだけ明るく・元気になるような、紙面づくりを心がけてまいりますので、よろしくお願いいたします。

知事室秘書課長 森田 康友

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等でお願ひします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2012年(平成24年)4月 NO.49

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022